



Data

(TDB企業コード：260877704)
(法人番号：1040001037482)

サノシーテック 株式会社

所 在 地 実質本店：松戸市栄町5-291-2
工場：埼玉県越谷市大成町2-242
代 表 者 佐野 稚子氏
電話番号 048-990-3511（工場）
設 立 2001年（平成13年）10月
資 本 金 3000万円
業 種 動力伝達装置製造
(URL) <http://ceatec.jp>



社長代行 佐野 達広 氏

お客様の要望に情熱を持って応え、 まだこの世にない新しい製品を生み出す

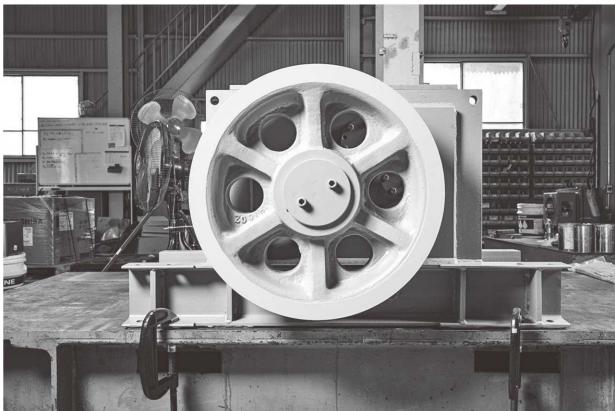
動力伝達装置製造業として顧客の困り事を解決し続け、今年10月で設立20周年を迎えるサノシーテック（株）。近年は、特にエレベーター巻上機の開発に注力し、大臣認定取得のプロジェクトを立ち上げるなど、注目が集まっている。同社社長代行（今後、代表取締役社長に就任予定）の佐野達広氏に話を聞いた。

— 御社の事業内容について教えてください

当社は、搬送装置および動力伝達装置の開発、製造を手がけており、中でもエレベーター用巻上機が全体の90%を占める主力となっています。当社のエレベーター巻上機は、機械室のないロープ式のエレベーター向けが中心です。エレベーターは、過去の事故が契機となり、UCMP装置（戸開走行保護装置、エレベーターの扉が開いたまま動くと自動停止する装置）の設置が義務化され、大臣認定を取得する必要があるなど、安全面への対

応が重要視される一方で、建築・防災の観点から省スペース化や静音設計、など、用途に応じた様々な要望がお客様からありました。安全性を確保しつつ、要望に応えていくことは非常に困難でしたが、「お客様の困り事を解決する為に自分たちは何ができるか」を念頭に、2020年に設計、開発、試験を繰り返し、次世代型巻上機「シーテックドライブ」を開発しました。2021年はUCMP基板も開発し、本巻上機シリーズでのエレベーター大臣認定取得に向け、試験棟でテストを繰り返しています。この大臣認定は多くのエレベーターメーカーにとって使い勝手の良い内容となっています。

さらに同年、世界初となる防爆仕様二重ブレーキ付エレベーター巻上機を開発し、次の大臣認定取得の為に準備を進めています。知財にも注力し、巻上機やUCMP基板の構造・意匠など複数に関する特許を取得および申請済みです。



省エネ・省スペース・高効率巻上機 シーテックドライブ



日本初UCMP対応 防爆巻上機 ボクサードライブ

— 御社の特長は

創業者で父の佐野喜代治（故人）は、大手重機械メーカーに約40間勤務し、減速機、サーボの開発設計に携わり、豊富な知識と経験を有していました。創業と同時に大手自動車部品メーカーから安全志向の高い、ファーネス圧着用装置の相談を受け、ほどなく画期的なサーボユニットを開発し、現在まで発注は途切れる事はありません。（2021年現在約4000台）。その後、高強度かつ省スペースの荷物用巻上機を開発して欲しいという多くのエレベーターメーカーの声を受け、国内では初となる「機械室レス荷物用歯車式巻上機」を開発しました。

2009年9月に国土交通省がエレベーターの安全基準を新たに制定した際には、新たに大臣認定仕様巻上機を複数種開発し、多くのエレベーターメーカーに採用して頂きました。競合の国内巻上機メーカーが韓国や台湾等の海外からの輸入に頼る中、「安心の国産・安全の国産」をモットーに、多くの顧客から圧倒的な支持を受けて参りました。

— エレベーターの大臣認定取得プロジェクトとは

2006年東京都港区でエレベーターによる痛ましい死亡事故がありました。その後ほどなくして、当時の反省を踏まえ、建築基準法が改正されました。昨今は国土交通省の指導の元、各メーカーは「絶対に事故を起こさないエレベーターづくり」を誓いました。それがいわゆる「UCMP大臣認定」です。

さて、エレベーターにおける主機は「巻上機」です。エレベーターの予期せぬ暴走や不安定な動きを確実に察知し、安全を担保する機器を「UCMP装置」といいます。この二つの機器は大

手メーカー以外では開発に積極的ではありません。エレベーターとは全く違う機械と電子分野の技術ですので、負担が大きいのだと思います。しかし大臣認定取得作業で問われる技術の大部分は「巻上機」と「UCMP装置」の中身が多くを占めています。ですから当社は開発企業としての技術的な強みを生かし、自身がエレベーターメーカーの代表として、大臣認定を取得する事を決断しました。

本プロジェクトに協賛して頂いたメーカーは、8月時点で27社（うち19社は新規取引）となりました。現在、東海地方にある某社の試験棟で最難関の試験とデータ収集を繰り返し、大臣認定取得に向け鋭意作業推進中です。

— 今後の抱負を教えてください

前述の通り、防爆仕様二重ブレーキ付エレベーター巻上機の大臣認定を取得予定です。同製品は、引火性のガスや粉じんが舞っているような化学工場、医薬品工場などでの活用を想定しています。活用を見込んでいる企業からは非常に積極的な引き合いがあります。

構想段階にあるものも含めると、ほかにも複数のプロジェクトが動いており、これを実現、製品化することで、お客様には驚きや喜びといったポジティブな感覚を持っていただけると考え、日々開発に注力しております。

今後もエレベーター巻上機を中心に、お客様の困り事に応え、新しい製品を生み出していくことで、業界や社会に役立つとともに、企業として成長していく所存です。